

# A case control study of systemic lupus erythematosus

Masakazu Washio (Department of Public Health, Sapporo Medical University School of Medicine), Chikako Kiyohara (Department of Preventive Medicine, Kyushu University Graduate School of Medical Sciences), Takahiko Horiuchi, Mine Harada (Department of Medicine and Biosystemic Science, Kyushu University Graduate School of Medical Sciences), Toyoko Asami (Rehabilitation Center, Saga Medical School Hospital), Takao Hotokebuchi (Department of Orthopedic Surgery, Saga Medical School), Saburo Ide (St. Mary's Junior College), Kazushi Okamoto (Department of Public Health and Epidemiology, Aichi Prefectural College of Nursing and Health), Gen Kobashi (Department of Health for Senior Citizens, Hokkaido University Graduate School of Medicine), Naomasa Sakamoto (Department of Hygiene, Hyogo College of Medicine), Satoshi Sasaki (National Institute of Health and Nutrition), Yoshihiro Miyake (Department of Public Health, Fukuoka University School of Medicine), Yokoyama Tetsuji (Department of Technology Assessment and Biostatistics, National Institute of Public Health), Mori Mitsuru (Department of Public Health, Sapporo Medical University School of Medicine), Yutaka Inaba (Department of Epidemiology, Juntendo University School of Medicine)

To investigate complex interactions between environmental factors and genetic factors, a case-control study of systemic lupus erythematosus (SLE) will be conducted. We will compare 100 patients with SLE and two types of controls (i.e., age- and sex-matched orthopedic patients and sex-matched junior college students). We will investigate two groups of genetic factors. One is polymorphism of the tumor necrosis factor receptor gene, which is a genetic risk factor for SLE, and the other is polymorphisms of the cytochrome P 4501A1 and glutathione S-transferase M1 genes, which are involved in the metabolism of carcinogens derived from cigarette smoke, because cigarette smoking is one of the risk factors for SLE.

**Key words:** systemic lupus erythematosus, environmental factors, genetic factors, gene-environmental relationship, case-control study

# 神経線維腫症 1 型の症例対照研究計画

三宅 吉博 (福岡大学医学部・公衆衛生学)

横山 徹爾 (国立保健医療科学院・技術評価部)

佐々木 敏 (国立健康・栄養研究所・栄養所要量策定企画・運営)

古村南夫、中山樹一郎 (福岡大学医学部・皮膚科)

田中景子、牛島佳代、守山正樹 (福岡大学医学部・公衆衛生学)

阪本 尚正 (兵庫医科大学・衛生学)

岡本 和士 (愛知県立看護大学・公衆衛生学)

小橋 元 (北海道大学大学院医学研究科・予防医学講座・公衆衛生学)

鷲尾 昌一 (札幌医科大学・公衆衛生学)

稲葉 裕 (順天堂大学医学部・衛生学)

## 要 約

神経線維腫症 1 型は常染色体優性遺伝で浸透率はほぼ 100%である。約半数は new mutation である。new mutation の約 90%は父親由来の染色体で起こる。今回、両親へのなんらかの環境要因暴露が NF 1 遺伝子の new mutation を引き起こすかを検討するため、孤発例の患者を症例群とする症例対照研究を企画した。5歳までにカフェ・オ・レ・スポット 6カ所以上を認めた家族歴のない患者を症例群、症例群と性、年齢をあわせた急性ウイルス性または細菌性肺炎や風邪症候群の患者を対照群とする。患者群は 100名、対照群は 200名とする。妊娠がわかる前について両親の生活習慣や生活環境を調査する。主治医は協力の得られた患者に調査票を手渡し、調査票は患者本人または家族の者が記入し、事務局に郵送する。

キーワード：神経線維腫症 1 型、症例対照研究

## 目 的

神経線維腫症 1 型は von Recklinghausen 病とも呼ばれ、頻度が高い。常染色体優性遺伝で浸透率はほぼ 100%である。約半数は new mutation である。NF 1 遺伝子は染色体 17 番 (17q11.2) に座位する。その蛋白産物である neurofibromin は ras 癌遺伝子の腫瘍抑制遺伝子の一つと考えられている。new mutation の約 90%は父親由来の染色体で起こる<sup>1)</sup>。

家族歴のない孤発例を症例群とした米国の症例対照研究では、父親の年齢上昇が有意では

ないがリスクを高める傾向にあった<sup>2)</sup>。軟部組織腫瘍の疫学レビューではダイオキシン等の暴露、インプラントがリスク要因の候補として論じられている<sup>3)</sup>。

今回、両親へのなんらかの環境要因暴露が NF 1 遺伝子の new mutation を引き起こすかを検討するため、孤発例の患者を症例群とする症例対照研究を企画した。

## 研究方法

(研究デザイン) 症例対照研究とする

(対象者) 5歳までにカフェ・オ・レ・スポット6カ所以上を認めた家族歴のない患者を症例群、症例群と性、年齢をあわせた急性ウイルス性または細菌性肺炎や風邪症候群の患者を対照群とする。患者群は100名、対照群は200名とする。

(調査対象医療機関) 中核となる医療機関として10施設ほどとする。

(調査項目) 妊娠がわかる前について両親の生活習慣や生活環境を調査する。食事調査については短縮版の半定量食事摂取頻度調査票(妥当性の検証されている自記式食事歴法質問票)を用い、喫煙や粉塵の暴露、居住状況、自動車やコンピューターに関わる時間、アレルギー疾患を中心とする既往歴については、本研究用に開発した質問票を用いる。両親の性格調査も実施する。調査はすべて対象者の両親からの自己申告による。

(調査スケジュール) 平成14年12月20日に行われた神経皮膚症候群のに関する研究班会議において、本研究案の発表を行った。本研究実施の意義があると判断され、実施することが臨床班において確認された。

1. 遺伝子多型に関する調査の必要性についての検討

2. 調査参加候補施設の選定

を平成14年度末までに吟味した上、平成15年度早々にも各医療機関長宛に、調査協力を依頼する。協力各施設において、症例群については主に皮膚科もしくは小児科、対照群については小児科よりリクルートできる体制を整える。調査票の最終版の作成、事務局体制の整備が終了次第調査を実施する。調査期間は約半年を想定する。主治医はその期間に症例群、

対照群の患者に調査の協力を依頼し、協力の得られた患者の両親に調査票を手渡す。同時に、主治医は協力者の氏名、連絡先を事務局に送る。調査票は患者の両親が記入し、事務局に郵送する。事務局担当者は内容を吟味し、予め決められた基準にしたがって、記入ミスや記入誤りを電話で問い合わせる。郵送により食事の個人結果を対象者に返却する。その結果に対する患者の両親からの問い合わせにも事務局が対応する。事務局では症例群のデータに従い、性別、年齢を症例群の得られた施設の小児科に連絡し、対照群のリクルートを小児科主治医に依頼する。

(解析・報告) 解析は条件付きロジスティック回帰分析を用い、各要因の補正相対危険を求める。結果は厚生省に報告書を提出するだけでなく、国際学術雑誌に投稿する。その際、著者は解析、論文執筆を担当した各研究者個人および Japan Neurofibromatosis type 1 Study Group とし、全ての協力医療機関の施設名、医師名を Study Group の一員として、論文の Appendix に列挙する。

## 文献

- 1) Rasmussen SA, Friedman JM. NF1 gene and neurofibromatosis 1. *Am J Epidemiol* 2000; 151: 33-40.
- 2) Bunin GR, Needle M, Riccardi VM. Paternal age and sporadic neurofibromatosis 1: A case-control study and consideration of the methodologic issues. *Genet Epidemiol* 1997; 14: 507-516.
- 3) Zahm SH, Fraumeni JF Jr. The epidemiology of soft tissue sarcoma. *Semin Oncol* 1997; 24: 504-514.

## **A study design of a case-control study regarding the risk and preventive factors for sporadic neurofibromatosis type 1**

Miyake Yoshihiro (Department of Public Health, Fukuoka University School of Medicine), Yokoyama Tetsuji (Department of Technology Assessment and Biostatistics, National Institute of Public Health), Sasaki Satoshi (Project of Scientific Evaluation of Dietary Reference Intakes, National Institute of Health and Nutrition), Furumura Minao, Nakayama Juichiro (Department of Dermatology, Fukuoka University School of Medicine), Tanaka Keiko, Ushijima Kayo, Moriyama Masaki (Department of Public Health, Fukuoka University School of Medicine), Sakamoto Naomasa (Department of Hygiene, Hyogo College of Medicine), Okamoto Kazushi (Department of Public Health, Aichi Prefectural College of Nursing and Health), Kobashi Gen (Department of Public Health, Hokkaido University Graduate School of Medicine), Washio Masakazu (Department of Public Health, Sapporo Medical University School of Medicine), Inaba Yutaka (Department of Epidemiology, Juntendo University School of Medicine)

Neurofibromatosis 1 (NF1) is an autosomal dominant condition with virtually 100 percent penetrance by adulthood. About 50% of NF1 cases result from new mutations. About 90% of new mutations occur on the paternally derived chromosome. We planed a case-control study of sporadic NF1 without parental history of NF1 to elucidate risk and preventive factors. Cases are patients with 6 café-au-lait spots or more under 6 years. Controls are recruited by contacting the patients who are hospitalized patients diagnosed as having acute viral or bacterial pneumonia and outpatients with common cold. Two controls are selected for each case with individually matching by hospital, gender and age. The questionnaires ascertain environmental factors of parents of the child before pregnancy such as diet, smoking, occupational exposure. Physicians in the collaborating hospitals hand a set of questionnaires to parents of the eligible patients. The parents fill in the two questionnaires and mail them to the data managing center.

**Key words:** neurofibromatosis type 1, case-control study

番号(記入不要):

## ご両親の生活習慣と生活環境を知るための質問 厚生科学研究特定疾患対策研究事業



この質問票は、厚生労働省の研究費により実施する神経線維腫症の予防に関する調査の一環です。

調査内容は全体として統計解析に利用するだけで、個人の調査内容を公表することは絶対にありません。

ご協力くださいますようお願いいたします。

**記入には、太い黒の鉛筆を使ってください。**

お父さんの氏名(ふりがな)	( )
お母さんの氏名(ふりがな)	( )
お子さんの名前(ふりがな)	( )
お子さんの性別と子数	1. 男    2. 女                      第( )子
お父さんの生年月日	昭和                      年                      月                      日
お母さんの生年月日	昭和                      年                      月                      日
お子さんの生年月日	平成                      年                      月                      日
住 所	
電話番号	( )

今日(この質問票に答える日)の日付を記入してください。

平成                      年                      月                      日

**「記入もれ」がないように、十分注意をしてください。  
記入方法がわからないところは、空白のままにしておいてください。  
後日、改めてこちらからお電話にて確認させていただきます。**

お問い合わせ先:厚生科学研究事務局

担当 三宅吉博(みやけよしひろ)

〒814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1

福岡大学医学部公衆衛生学教室内

TEL:092-801-1011(内3311) FAX:092-863-8892

該当する答えの番号を○で囲み、( )の中に記入してください。  
対象のお子さんの妊娠前、妊娠中、出産後についてお答えください。

**[お母さん妊娠前のことについておたずねします。]**

[1]あなたは仕事をしていましたか。

1. していなかった

2. していた



- 勤務形態はどれでしたか。  
1. 常勤 2. パート
- 就労時間はだいたい週に( )時間
- 屋外での仕事はだいたい週に( )時間  
※屋外の仕事がなかった場合は0(ゼロ)を記入してください
- どのような仕事でしたか。  
1. 技術専門職 2. 管理職 3. 事務 4. 販売従事者  
5. サービス業 6. 運輸・通信従事者  
7. 製造・建設作業等の労務作業者  
8. その他( )

[2]あなたは妊娠がわかるまでの1年間、車の運転をしていましたか。

1. していなかった

2. していた



- 一年間平均して1日に( )時間運転していた

[3]あなたは妊娠がわかるまでの1年間、パソコンの操作をしていましたか。

1. していなかった

2. していた



- 一年間平均して1日に( )時間操作していた

[4]あなたは妊娠がわかった頃、ビールコップ1杯程度の少量の飲酒で、すぐ顔が赤くなる  
体質でしたか。

1. いいえ

2. はい

3. わからない

[5]あなたはお酒を飲み始めた頃の1～2年間は、ビールコップ1杯程度の少量の飲酒で、すぐ顔が赤くなる体質でしたか。

1. いいえ
2. はい
3. わからない

[6]あなたはタバコを1年以上続けて、ほとんど毎日吸ったことがありましたか。

1. なかった
2. 吸っていた

- ● ( )歳から妊娠がわかるまで合計( )年間  
● 平均して1日に( )本

[7]あなたは1年以上、定期的にタバコを吸う人と同じ家で生活したことがありましたか。

1. なかった
2. あった

- ● 定期的にタバコを吸う人といっしょに生活したのは合計( )年間  
● その人はあなたが家にいるときに平均して1日に( )本のタバコを吸っていた。

[8]あなたは1年以上、定期的にタバコを吸う人と同じ職場にいたことがありましたか。

1. なかった
2. あった

- ● 定期的にタバコを吸う人と同じ職場にいたのは合計( )年間  
● その時の職場での喫煙状況についてお答え下さい。  
1. 常時誰かが喫煙していた 2. 断続的に誰かが喫煙していた

[9]あなたの余暇の運動・スポーツ(散歩、庭仕事なども含む)についておたずねします。

妊娠前1年間を平均して、下の表に記入してください。

運動の種類(注意1)	回数	1回あたりの時間	期間(注意2)
	月に 回	分	ヶ月
	月に 回	分	ヶ月
	月に 回	分	ヶ月
	月に 回	分	ヶ月

注意1:各行に1種類の運動のみ記入してください。

注意2:特定の期間(季節)のみ運動する場合はその月数を記入してください。  
年間を通して運動した場合は12ヶ月と記入してください。

[10]あなたは妊娠前に次のアレルギー疾患で治療を受けたことがありますか。

● 気管支喘息

1. なかった

2. あった →

● 生後～12歳	1. 治療を受けた	2. 受けていない
● 12～18歳	1. 治療を受けた	2. 受けていない
● 18歳以降	1. 治療を受けた	2. 受けていない
● 妊娠前1年間	1. 治療を受けた	2. 受けていない

● アトピー性皮膚炎

1. なかった

2. あった →

● 生後～12歳	1. 治療を受けた	2. 受けていない
● 12～18歳	1. 治療を受けた	2. 受けていない
● 18歳以降	1. 治療を受けた	2. 受けていない
● 妊娠前1年間	1. 治療を受けた	2. 受けていない

● アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)

1. なかった

2. あった →

● 生後～12歳	1. 治療を受けた	2. 受けていない
● 12～18歳	1. 治療を受けた	2. 受けていない
● 18歳以降	1. 治療を受けた	2. 受けていない
● 妊娠前1年間	1. 治療を受けた	2. 受けていない

● その他のアレルギー疾患(食物アレルギーなど)

1. なかった

2. あった →

● 生後～12歳	1. 治療を受けた	2. 受けていない
● 12～18歳	1. 治療を受けた	2. 受けていない
● 18歳以降	1. 治療を受けた	2. 受けていない
● 妊娠前1年間	1. 治療を受けた	2. 受けていない

[11]あなたは妊娠前に貧血のため鉄剤の内服治療を受けたことがありましたか。

1. なかった

2. あった →

昭和	( )年( )月より
平成	( )年( )月まで
昭和	( )年( )月まで
平成	( )年( )月まで

[12]あなたは妊娠前に経口避妊薬(ピル)を服用したことがありましたか。

1. なかった

2. あった →

内服期間は全て合わせて( )カ月

[13]あなたは妊娠前1年間を平均して頭痛や生理痛のため痛み止めの薬を1ヶ月に1日以上服用したことがありましたか。

1. なかった

2. あった →

- |                          |
|--------------------------|
| ● だいたい1ヶ月に( )日服用した。      |
| ● よく使う薬の名前は何でしたか。<br>( ) |

[14]あなたは妊娠前に以下の病気になりましたか。

1. 膀胱の病気(尿がでないのに尿意が続く)
2. 虫垂の病気(右下のお腹が痛くなり急性虫垂炎の診断で手術を受けた)
3. 扁桃腺の病気(よく扁桃腺が腫れたため扁桃腺の摘出手術を受けた)

[15]あなたの思春期の頃のニキビについておたずねします。

1. 顔の半分以上にニキビができた
2. 顔の半分とはいかないまでも、かなりのニキビができた
3. 少しニキビができた
4. ほとんどニキビはできなかった

[16]中学生(12歳)以降妊娠まで、1年に何回くらい風邪をひきましたか。

だいたい1年に( )回くらい

[17]あなたの初潮は何歳でしたか。

( )歳

[18]あなたはB型肝炎もしくはC型肝炎(のキャリア)と医師にいわれたことがありますか。

1. ない
2. あった → 

1. B型肝炎	2. C型肝炎	3. 両方の肝炎
---------	---------	----------

[19]あなたは妊娠前に永久歯(乳歯を除く)を抜いたことがありましたか。

1. なかった
2. あった → 

現在、自分の歯は上下あわせて( )本ある
妊娠した後現在まで( )本抜いた
注意1:さし歯を除く
注意2:永久歯は正常で28本です(親知らずを除く)
注意3:抜歯をしたことがない場合は0(ゼロ)を記入してください

[20]あなたは妊娠前に歯科インプラント(人工歯根)を埋めこむ治療を受けたことがありましたか。

1. なかった
2. あった → 

治療を受けた 年齢	治療を受けた 歯の数	妊娠がわかった頃、 機能していましたか
歳	本	1. していた 2. していなかった
歳	本	1. していた 2. していなかった
歳	本	1. していた 2. していなかった

[21] 妊娠がわかった頃の家計の収入(ご夫婦の合計の税込み年収)はだいたいどのくらいでしたか。

1. 100万円未満    2. 100万円台    3. 200万円台    4. 300万円台  
5. 400万円台    6. 500万円台    7. 600万円台    8. 700万円台  
9. 800万円台    10. 900万円台    11. 1000万円以上

[22] あなたの在学期間についておたずねします。

(     )歳まで学校(中学、高校、専門学校、大学等)に在学していました。

[23] あなたが妊娠前に最も長く居住した市町村はどこですか。

(             )都・道・府・県    (             )市・町・村

[24] 家族構成についておたずねします。妊娠がわかった頃、同居していた方を全て選んで下さい。

1. 父    2. 母    3. 義父    4. 義母    5. 夫    6. 長男    7. 長女  
8. 次男    9. 次女    10. その他(             )

[25] 妊娠がわかった頃、住んでいた家は次のどれにあてはまりますか。

1. 一戸建て・木造系  
2. 一戸建て・鉄骨系  
3. 集合住宅・木造系     (     )階に住んでいた  
4. 集合住宅・鉄骨系     (     )階に住んでいた

[26] 妊娠がわかった頃、住んでいた家についておたずねします。

- だいたい築後(     )年くらい
- 住み始めてから(     )年経過
- 食事のできる台所を含めて部屋数は(     )室
- だいたい居住面積は(     )平方メートルまたは(     )坪    ※どちらか記入
- これまでに増改築または改装を行いましたか

1. いいえ    2. はい 

だいたい(     )年前に行った
-------------------

[27] 妊娠がわかった頃、自宅でペットを飼っていましたか。また、どこで飼っていましたか。

全て選んでください。

1. 飼っていない

2. 小鳥

3. 猫

4. 犬

5. ハムスター

6. その他( )

1. 室内	2. 屋外

[お母さんの妊娠中のことについておたずねします。]

[28] あなたは妊娠中、タバコをほとんど毎日吸っていましたか。

1. 吸っていない

2. 吸っていたが途中でやめた

● 妊娠( )ヶ月でやめた

● 妊娠中、喫煙していたとき、平均して1日に( )本吸っていた

3. 妊娠期間通して吸っていた

● 平均して1日に( )本吸っていた

[29] あなたは妊娠中、定期的にタバコを吸う人と同居していますか。

1. 同居していない

2. 同居している

● たばこを吸う人は誰ですか。全て選んでください。

1. 夫 2. その他( )

● その人(複数の場合合計)はお子さんが一番長くいる部屋で平均して1日に( )本のタバコを吸っている

[30] あなたは妊娠中、食事制限をしましたか。

1. していない

2. していた

制限していた食物は何ですか。全て答えてください。

1. 卵 2. 牛乳および乳製品 3. 鶏肉 4. 牛肉

5. 豚肉 6. 魚 7. 大豆製品(豆腐、納豆など)

8. 小麦 9. 米 10. ピーナッツ

11. その他( )

[31]あなたは妊娠中、一般的なつわり以外に、医学的な異常を医師に指摘されましたか。

1. ない

2. あった

医師の診断は何でしたか。全て選んでください。

- |          |             |          |
|----------|-------------|----------|
| 1. 妊娠悪阻  | 2. 羊水過多症    | 3. 羊水過少症 |
| 4. 妊娠中毒症 | 5. 常位胎盤早期剥離 | 6. 前置胎盤  |
| 7. 頸管無力症 | 8. その他( )   |          |

[32]あなたは妊娠中、貧血のため鉄剤の内服治療を受けましたか。

1. 受けない

2. 受けた

何日間、薬を服用しましたか。

( )日間

[お母さんの妊娠がわかる前のことについて、お父さんにおたずねします]

[33]お母さんの妊娠がわかった時、あなた(お父さん)の職業についておたずねします。仕事の内容がわかるように役職など詳しく記入してください。

妊娠がわかった時の職業( )と年数( )年

[34]お母さんの妊娠がわかる前に、職業上、1週間あたり10時間以上、粉塵や化学物質の暴露を受けたことがありましたか。また何年間暴露を受けましたか。

1. なかった

2. あった

素材は何でしたか。当てはまるものを全て選んで下さい。

- |                     |               |            |
|---------------------|---------------|------------|
| 1. 金属(具体的に ) ( )年   |               |            |
| 2. 木材(具体的に ) ( )年   |               |            |
| 3. 石炭( )年           | 4. 石もしくは砂( )年 |            |
| 5. アスベスト( )年        | 6. 有機溶媒( )年   |            |
| 7. かび( )年           | 8. 農薬( )年     | 9. シリカ( )年 |
| 10. シリコン( )年        | 11. 塩化水銀( )年  |            |
| 12. 毛髪染料( )年        | 13. チョーク( )年  |            |
| 14. その他(具体的に ) ( )年 |               |            |

[35]あなた(お父さん)はお母さんの妊娠がわかるまでの1年間、車の運転をしていましたか。

1. していなかった

2. していた → ● 一年間平均して1日に( )時間運転していた

[36]あなた(お父さん)はお母さんの妊娠がわかるまでの1年間、パソコンの操作をしていましたか。

1. していなかった

2. していた → ● 一年間平均して1日に( )時間操作していた

[37]あなた(お父さん)は妊娠がわかった頃、ビールコップ1杯程度の少量の飲酒で、すぐ顔が赤くなる体質でしたか。

1. いいえ

2. はい

3. わからない

[38]あなた(お父さん)はお酒を飲み始めた頃の1～2年間は、ビールコップ1杯程度の少量の飲酒で、すぐ顔が赤くなる体質でしたか。

1. いいえ

2. はい

3. わからない

[39]あなた(お父さん)はタバコを1年以上続けて、ほとんど毎日吸ったことがありましたか。

1. なかった

2. 吸っていた → ● ( )歳から妊娠がわかるまで合計( )年間  
● 平均して1日に( )本

[40]あなた(お父さん)は1年以上、定期的にタバコを吸う人と同じ家で生活したことがありますか。

1. なかった

2. あった →
- 定期的にタバコを吸う人といっしょに生活したのは合計( )年間
  - その人はあなたが家にいるときに平均して1日に( )本のタバコを吸っていた。

[41]あなた(お父さん)は1年以上、定期的にタバコを吸う人と同じ職場にいたことがありますか。

1. なかった

2. あった →
- 定期的にタバコを吸う人と同じ職場にいたのは合計( )年間
  - その時の職場での喫煙状況についてお答え下さい。  
1. 常時誰かが喫煙していた 2. 断続的に誰かが喫煙していた

[42]あなた(お父さん)はこれまでに次のアレルギー疾患で治療を受けたことがありますか。

● 気管支喘息

1. なかった

2. あった →
- |          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| ● 生後～12歳 | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |
| ● 12～18歳 | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |
| ● 18歳以降  | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |
| ● 妊娠前1年間 | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |

● アトピー性皮膚炎

1. なかった

2. あった →
- |          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| ● 生後～12歳 | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |
| ● 12～18歳 | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |
| ● 18歳以降  | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |
| ● 妊娠前1年間 | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |

● アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)

1. なかった

---

2. あった →
- |          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| ● 生後～12歳 | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |
| ● 12～18歳 | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |
| ● 18歳以降  | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |
| ● 妊娠前1年間 | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |

● その他のアレルギー疾患(食物アレルギーなど)

1. なかった

2. あった →
- |          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| ● 生後～12歳 | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |
| ● 12～18歳 | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |
| ● 18歳以降  | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |
| ● 妊娠前1年間 | 1. 治療を受けた | 2. 受けていない |

[43]あなた(お父さん)はお母さんの妊娠がわかる前に以下の病気になりましたか。

1. 膀胱の病気(尿がでないのに尿意が続く)
2. 虫垂の病気(右下のお腹が痛くなり急性虫垂炎の診断で手術を受けた)
3. 扁桃腺の病気(よく扁桃腺が腫れたため扁桃腺の摘出手術を受けた)

[44]あなた(お父さん)の思春期の頃のニキビについておたずねします。

1. 顔の半分以上にニキビができた
2. 顔の半分とはいかないまでも、かなりのニキビができた
3. 少しニキビができた
4. ほとんどニキビはできなかった

[45]あなた(お父さん)は、中学生(12歳)以降、お母さんの妊娠がわかるまで、1年に何回  
くらい風邪をひきましたか。

だいたい1年に( )回くらい

[46]あなた(お父さん)はB型肝炎もしくはC型肝炎(のキャリア)と医師にいわれたことがありますか。

1. ない

2. あった →
- |         |         |          |
|---------|---------|----------|
| 1. B型肝炎 | 2. C型肝炎 | 3. 両方の肝炎 |
|---------|---------|----------|

[47]あなた(お父さん)は妊娠がわかる前に永久歯(乳歯を除く)を抜いたことがありましたか。

- 1. なかった
- 2. あった



現在、自分の歯は上下あわせて( )本ある  
 妊娠した後現在まで( )本抜いた  
 注意1: さし歯を除く  
 注意2: 永久歯は正常で28本です(親知らずを除く)  
 注意3: 抜歯をしたことがない場合は0(ゼロ)を記入してください

[48]あなた(お父さん)は妊娠がわかる前に歯科インプラント(人工歯根)を埋めこむ治療を受けたことがありましたか。

- 1. なかった
- 2. あった



治療を受けた 年齢	治療を受けた 歯の数	妊娠がわかった頃、 機能していましたか		
歳	本	1. していた	2. していなかった	
歳	本	1. していた	2. していなかった	
歳	本	1. していた	2. していなかった	

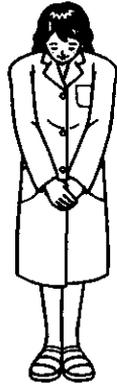
[49]あなた(お父さん)の在学期間についておたずねします。

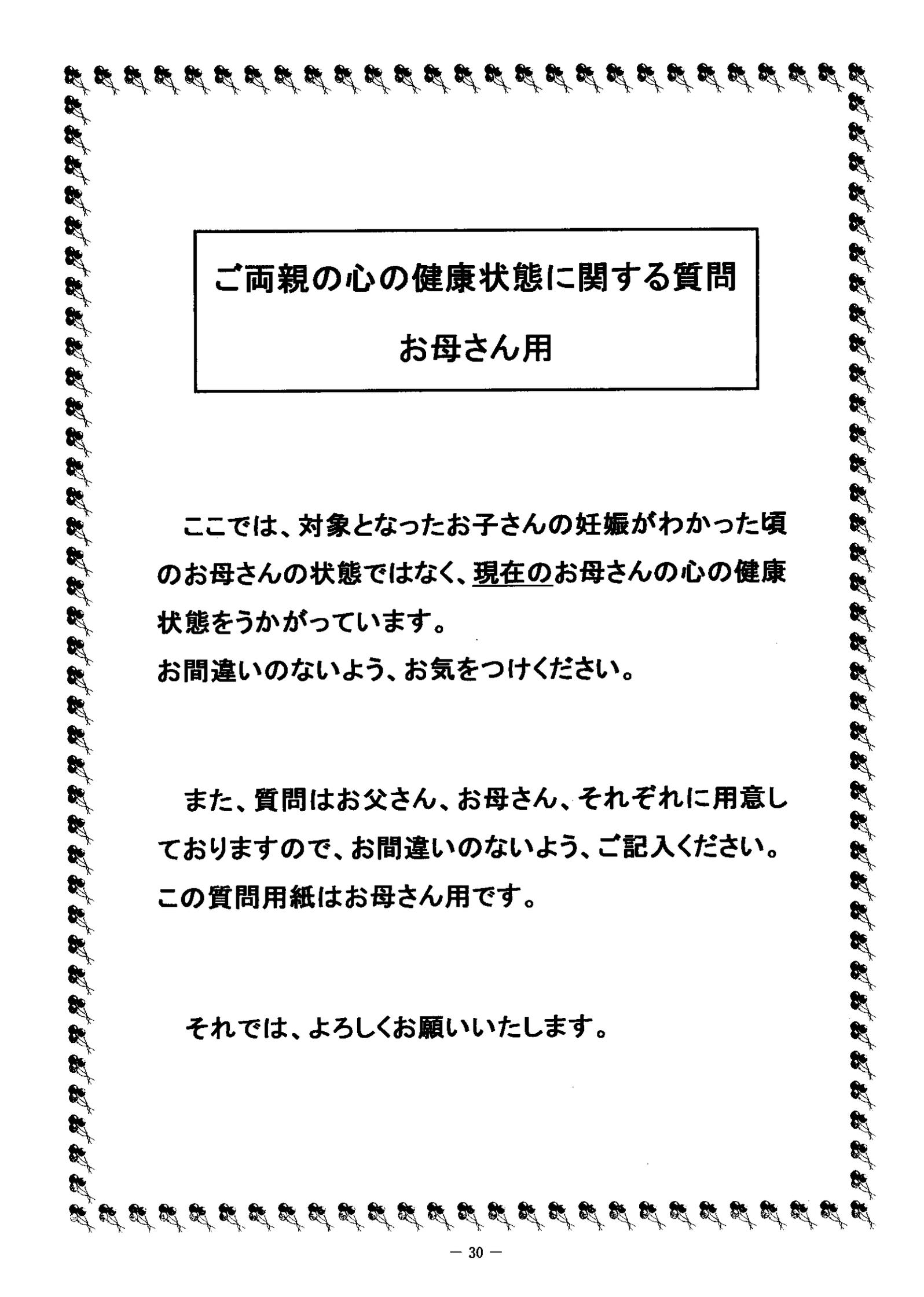
( )歳まで学校(中学、高校、専門学校、大学等)に在学していました。

[50]あなた(お父さん)が妊娠前に最も長く居住した市町村はどこですか。

( )都・道・府・県 ( )市・町・村

以上です。ありがとうございました。





ご両親の心の健康状態に関する質問  
お母さん用

ここでは、対象となったお子さんの妊娠がわかった頃のお母さんの状態ではなく、現在のお母さんの心の健康状態をうかがっています。

お間違いのないよう、お気をつけください。

また、質問はお父さん、お母さん、それぞれに用意しておりますので、お間違いのないよう、ご記入ください。  
この質問用紙はお母さん用です。

それでは、よろしく願いたします。

## 〔お母さん用〕

名前

生年月日 年 月 日【年齢 歳】

〔1〕 最近1週間の、あなたのからだや心の状態についておたずねします。下にあります20項目の文章を読んでください。各々のことがらについて

- ◎ もしこの1週間で全くないか、あったとしても1日も続かない場合は〔A〕
- ◎ 週のうち1～2日なら〔B〕
- ◎ 週のうち3～4日なら〔C〕
- ◎ 週のうち5日以上なら〔D〕

のところを○でかこんでください。

	この一週間のうちで			
	ない	1-2日	3-4日	5日以上
1. 普段は何でもないことがわずらわしい。	A	B	C	D
2. 食べたくない。食欲が落ちた。	A	B	C	D
3. 家族や友達からはげましをもらっても気分が晴れない。	A	B	C	D
4. 他の人と同じ程度には、能力があると思う。	A	B	C	D
5. 物事に集中できない。	A	B	C	D
6. ゆうつだ。	A	B	C	D
7. 何をするのも面倒だ。	A	B	C	D
8. これから先のことについて積極的に考えることができる。	A	B	C	D
9. 過去のことについてくよくよ考える。	A	B	C	D
10. 何か恐ろしい気持ちがある。	A	B	C	D
11. なかなか眠れない。	A	B	C	D
12. 生活について不満なく過ごせる。	A	B	C	D
13. ふだんより口数が少ない。口が重い。	A	B	C	D
14. 一人ぼっちでさびしい。	A	B	C	D
15. 皆がよそよそしいと思う。	A	B	C	D
16. 毎日が楽しい。	A	B	C	D
17. 急に泣き出すことがある。	A	B	C	D
18. 悲しいと感じる。	A	B	C	D
19. 皆が自分をきらっていると感じる。	A	B	C	D
20. 仕事が手につかない。	A	B	C	D